

奥秩父：両神山

◆日程 2022年5月2日(月)～3日(火)
◆メンバー L: ST、KN

5月2日(月) 天候：曇り(にわか雨)

当初は5月1日～2日で計画されていたが、1日が荒天予想であったため、1日順延となった。個人ごとにはなるが、思えば昨年秋に個人山行で同山に挑戦し、朝からガスと雨で途中撤退を余儀なくされた苦い思い出がある。2日、3日の天気予報は悪くはなく、リベンジの思いを持って待ち合わせの西武秩父駅でSTCLと合流し、路線バスを乗り継いで登山口の日向大谷に到着した。

横浜からのアクセスはなかなか厳しく、12時位に登山開始となる。山岳信仰の山らしく鳥居をくぐり、不動明王像やお地藏さん達の前を通り過ぎ、古式ゆかしい神々しい雰囲気の中、沢沿いの登山道を渡渉を重ねながら高度を上げていく。まぶしい位の新緑と、涼し気な沢音が心地良い。

1日目の目的地である清滝小屋まではかなりの急登ではあるが、登山口から2時間30分ほどで清滝小屋に到着した。清滝小屋は無人の避難小屋ではあるが、テン場もあり、水場や洗い場、キレイなWCもあり、とても快適に過ごすことができる小屋である。我々含めて4組～5組位とゆったりと身体を休めて翌日に備えることができた。(記: KN)

CT: 西武秩父 10:00 - 日向大谷 11:55 - 会所 12:40 - 清滝小屋-14:30

5月3日(火) 天候：晴れ

2日目は朝から見事に晴れ、小屋廻りからの景色はすでに素晴らしく、絶景に期待が膨らむばかりだ。パラパラではあるが石楠花の花も立派に咲いていて、新緑とのコントラストが素晴らしい。休養十分で気持ち良く山頂に向けて出発する。

小屋を出てすぐは「鈴が坂」という急登をジグザクと登って行く。登りきると「産泰尾根」に出る。鎖場、ハシゴ、木の根の張り出した若干歩きにくい尾根道を登りきると、「両神神社」に辿り着く。山頂の少し下だと言うのに、こんなに立派な神社が・・・少し驚くがとても神聖な気持ちになりながら参拝し、改めて山頂に向かう。ちなみにこの両神神社の狛犬は狼なのだそう。ちょっと可愛くもあり、愛嬌を感じられた。岩場をよじ登ること30分程、念願の両神山頂上に立つことができた。

雲一つなく期待通りの眺望で、八ヶ岳、北アルプス、上信越の山々、そして富士山も、感激ひとしおだった。帰りは小屋にデポしていた荷物をパッキングして、本数少ない路線バスに間に合わせるため一気に降りる。

出発5分前に滑り込みセーフ。「両神温泉薬師の湯」で下車し、温泉に入り秩父名物の「ワラジかつ丼」と美味しい生ビールで最高の山行を締めくくった。

無事に楽しく登らせてくれた両神の神様に感謝の気持ちでいっぱい山行だった。

(記: KN)

CT: 清滝小屋 5:50 - 産体尾根 6:15 - 両神神社 6:45 - 両神山山頂 7:15 - 清滝小屋
8:45 - 日向大谷 10:20